

中小企業ポートフォリオにおけるインターチェンジ収益10万ドル増大を実現

米国トップ20の金融機関クライアントが、継続的なレポート作成ニーズに対処するために Visa Analytics Platform の多用途なプラットフォームを利用しています。重要な意思決定を裏付ける関連データを取得できることから、さまざまなシナリオにおいて十分な情報に基づく迅速な選択を可能にしています。



課題

Visa Analytics Platform を使用して中小企業向けカードのパフォーマンスを検証していた顧客が、中小企業向けカードのインターチェンジ収益が極端に少ないことを発見。カードポートフォリオの見直しを実施することになりました。

発行会社が Visa Analytics Platform のデータを確認したところ、中小企業向けカードの多くに登録プログラム識別番号 (RPIN) が関連付けされていないために、支出評価に含まれていないことが分かりました。結果的に、インターチェンジ収益の機会を逃してしまっていました。

プログラム識別について

米国の金融機関が Visa システム内の異なるカードレベルを区別する方法の1つが、RPIN を使用することです。通常、RPIN は個別のリワードカードプログラムを識別するために使用されます。

2015年のVisaの中小企業支出評価方法における変更により、以前はリワード対象外であったカードが、カード支出に基づいて評価されるようになりました。



効果

Visa Analytics Platform は、中小企業向けカードへの新たな RPIN の割り当ておよびインターチェンジ収益への効果を追跡する上で重要な役割を果たしました。



中小企業ポートフォリオ全体で3%の収益増大



年間10万ドルのインターチェンジ収益増大



別の発行会社でも同様の取り組みを実施し、年間数百万ドルのインターチェンジ収益追加の効果をもたらす

Visa Analytics Platform の詳細やデモのご依頼は、お住まいの地域の Visa アカウント エグゼクティブにお問い合わせいただくか、dataproduts@visa.com までご連絡ください。